

横浜市における社会的インパクト評価 の意義と活用

2017年11月17日

新日本有限責任監査法人 高木麻美



自己紹介 高木 麻美(たかぎ あさみ)

専門

公共経営(近年はエビデンスの活用と成果の可視化に注力)

職歴

- 2013年～ 新日本有限責任監査法人
 - 2007年～ 三菱UFJリサーチ&コンサルティング
 - 2002年～ Bain & Company
 - 1999年～ PwCコンサルティング(現IBM)

 - 2011年～ 国際大学大学院国際関係学研究科 非常勤講師
-

本日の構成

■ 社会的インパクト評価の概要

- I 社会的インパクト評価の定義及び特徴
- II 社会的インパクト評価の実践
- III 社会的インパクト評価の意義と課題
- IV 社会的インパクト評価の活用に向けて

■ 質疑応答・議論

I 社会的インパクト評価の定義及び特徴



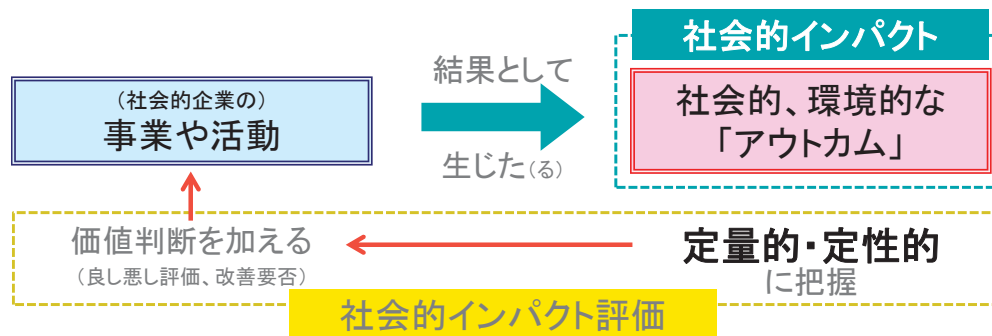
1. 定義

『社会的インパクト』

短期、長期の変化を含め、当該**事業や活動**の結果として生じた**社会的、環境的な「アウトカム」**

『社会的インパクト評価』

社会的インパクトを**定量的・定性的に把握**し、当該事業や活動について**価値判断を加える**こと



出典) 社会的インパクト評価検討ワーキング・グループ「社会的インパクト評価の推進に向けて」(2016.3)

2. 社会的インパクトへの注目の背景

投資家の意識の変化

- ▶ 国際連合が2006年に責任投資原則(Principles for Responsible Investment: PRI)を導入し、**非財務情報を考慮した投資に対する認識の向上**
- ▶ 2008年の金融危機以降、資本市場において、短期的な利益追求への批判が増大するとともに、**企業の社会性を考慮することが、長期的価値の最大化に寄与するという意識**に変革

成果への着目／民間資金・ノウハウの活用促進

- ▶ 国内外で、社会課題が多様化・複雑化し、財政がひっ迫する中、これまでの行政中心の対応に対する限界に直面
- ▶ より効果的・効率的な資源配分の必要性⇒**“成果”への着目**
- ▶ **民間の資金やノウハウの活用促進**⇒行政、民間事業者に求められる説明責任

+

施策のPDCAサイクルにおけるデータ活用(EBPM)の必要性に対する認識の向上

2. 社会的インパクトへの注目の背景

①投資家の意識の変化: ESG投資

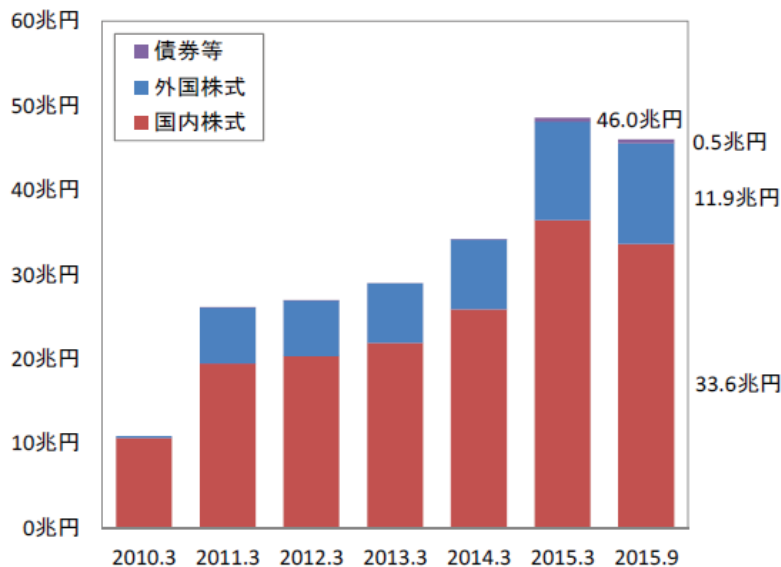
■世界

- 非財務情報を考慮し、長期的リターンを追及する投資の増加
- ESG投資資産額は22.9兆ドル(2016年)

■国内

- ESG投資資産額は46兆円と推計(2015年)
- GPIF等によるESG投資の拡大見込み
- 成長戦略の後押し

日本のESG投資資産規模の推移



出典)GSIA「Global Sustainable Investment Review 2016」、日興アセットマネジメント)

2. 社会的インパクトへの注目の背景

①投資家の意識の変化: 社会的インパクト投資

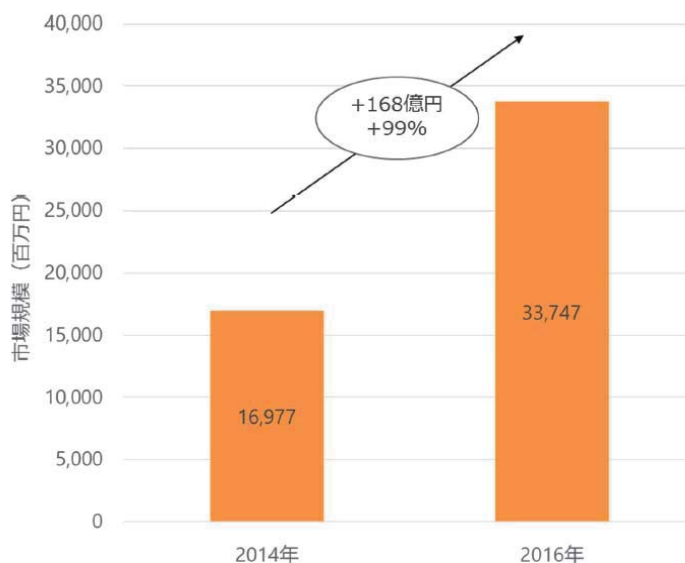
■世界

- 中長期的な視点で社会課題の解決を意図する投資の増加
- SI投資資産額は774億ドル(2015年)
- 新たな法人制度・認証制度、社会投資減税の創設
- 派生形としてのSIBの誕生

■国内

- 社会的インパクト投資市場規模は337億円(2016年)
- 休眠預金活用法が成立し、毎年800億円といわれる休眠預金の活用の検討が開始

日本の社会的インパクト投資市場規模



出典)内閣府資料、「日本における社会的インパクト投資の現状2016」、

2. 社会的インパクトへの注目の背景

①投資家の意識の変化:SDGs



2015年の「国連持続可能な開発サミット」において、その成果文書として、「我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ」を採択
同アジェンダでは、ミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(SDGs)」

<事例>ネスレのSDGsコミットメント



栄養・健康・ウェルネス 8,856 栄養や健康に配慮して改良した製品数	2,070 億サービング 微量栄養素を強化した食品原料のサービング数
農村開発 1億 2,900 万本 雇員従業員に配布したコーヒー苗木の数 2020年までの目標(2006年以降の実績)	363,000 人 能力開発プログラムを通じて研修を受けた雇員従業員の数
水 25 % 製品1トンあたりの取水量を 2010年と比較して削減した割合	370 万m³ 516件の節水プロジェクトを通じて節約した水の量
環境サステナビリティ 39 % 製品1トンあたりの排出量を 削減した割合(2006年以降の実績)	182 カ所 廃棄物ゼロを達成した工場数 (全体の39%)
人権、人権とコンプライアンス 15,666 人 ビジネスと経営スキルの 研修を受けた女性の数	9,573 人 FTSE4Goodの最も健全な 人権に関する研修を受けた社員数

出典)国際連合広報センターウェブサイト

2. 社会的インパクトへの注目の背景

②成果への着目/民間資金・ノウハウの活用促進

成功報酬型の契約事例

自治体名	事業分野	概要
滋賀県	介護	<ul style="list-style-type: none"> 県内に所在する介護サービス事業所(通所介護、通所リハビリテーションおよび認知症対応型通所介護を行う事業所)が高齢者の要介護度の改善に取り組み一定の成果を上げた場合に、交付金を支給する事業を平成24年度から平成26年度の3年間実施 品川区等でも同様の事業を実施。また、厚生労働省は、介護サービスを通じて要介護者の心身の状態が改善したかどうかを、事業者を支払う介護報酬に反映させることを検討中
大分市	姉妹都市交流	<ul style="list-style-type: none"> 大分市武漢友好都市市民交流拠点業務委託事業では、武漢市の行政企業法人である武漢市国際交流サービスセンターに業務委託 市民団体、企業等の交流取扱い件数、武漢市からの訪日観光客、修学旅行生人数などの目標値を設定し、出来高払いによる委託契約
徳島県	家賃徴収	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度より県営住宅の家賃滞納の徴収率アップに向け、既に退去した滞納者からの家賃徴収業務を債権回収会社に委託。契約は出来高払い方式

出典)滋賀県ウェブサイト「滋賀県民間主導要介護度改善評価交付事業について」、自治体国際化協会ウェブサイト「姉妹自治体優良事例紹介」、財団法人中部産業活性化センター(2008)「公共サービスへの競争導入による民活実態」調査研究報告書～市場化テスト法の動向とその展望～」

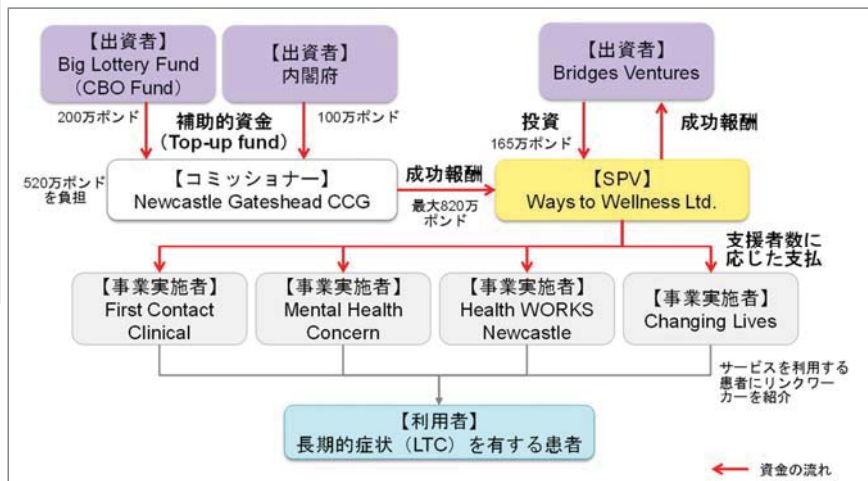
2. 社会的インパクトへの注目の背景

②成果への着目／民間資金・ノウハウの活用促進

SIBの組成状況(2017年11月)



英国ニューカッスル“Ways to Wellness”SIBスキーム



出典) Social Financeウェブサイト

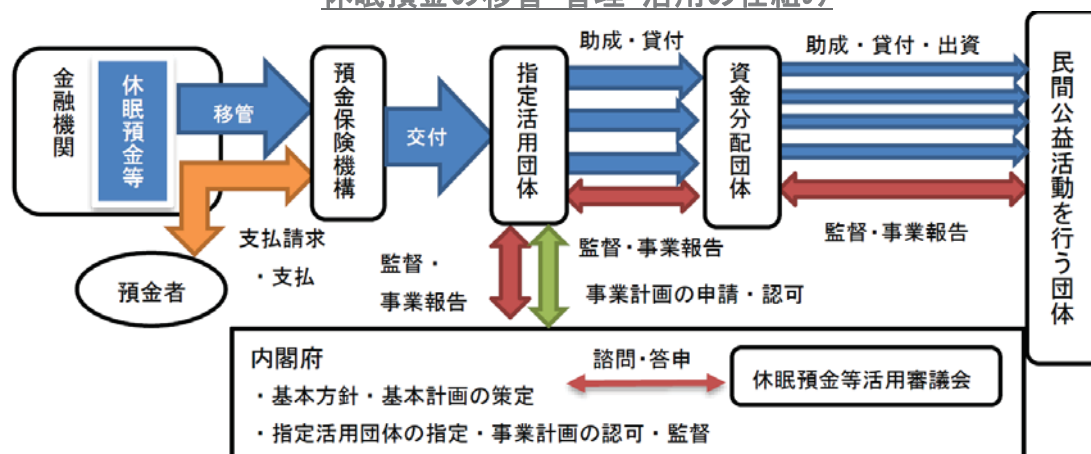
2. 社会的インパクトへの注目の背景

③休眠預金の活用: 背景・仕組み

民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律の背景

- 休眠預金等: 預金者が名乗りを上げないまま、10年間放置された預金等
- 預金等の性質(①銀行等が公共的役割を果たすための原資、②預金保険制度等による公的資金の活用も想定、③広く国民が利用)に鑑みると、預金者等に払い戻す努力を尽くした上で、社会全体への波及効果の大きい民間公益活動の促進に活用することで休眠預金等を広く国民一般に還元すべき。

休眠預金の移管・管理・活用の仕組み



出典)内閣府「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律 概要」

2. 社会的インパクトへの注目の背景

③休眠預金の活用: 主要論点

基本方針策定に向けた主要論点(案)

1. 法の理念の具体化
2. 休眠預金の活用により優先的に解決すべき社会課題
3. 指定活用団体に求められる機能、ガバナンス／コンプライアンス
4. 指定活用団体の指定基準・手続き
5. 資金分配団体に求められる機能、ガバナンス／コンプライアンス
6. 資金の活用の成果に係る評価の在り方と成果に係る目標に着目した助成・貸付・出資など、革新的な手法開発の促進

出典) 第1回休眠預金等活用審議会資料

3. 社会的インパクト評価の目的

説明責任を果たす

資金提供者、受益者等のステークホルダーに対する説明責任を果たす

学び・改善

評価のプロセス及び結果から気づきを得て、事業の改善につなげる

✓「評価」に対する誤解

- ◎ 組織の成長や事業の改善などの「価値を引き出す」ものである
- × 監査・査定されるもの、経営資源を費消するもの、ではない!

出典) 社会的インパクト評価検討ワーキング・グループ「社会的インパクト評価の推進に向けて」(2016.3)

4. 社会的インパクト評価の特徴

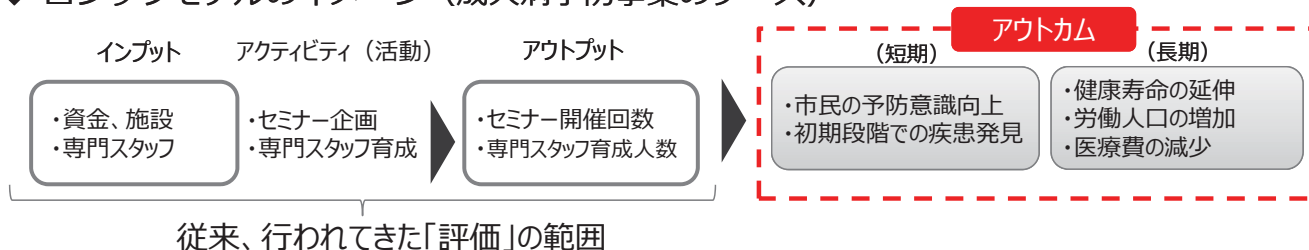
- アウトプット評価に留まらず、その先のアウトカムを評価する。

✓ サービス等の規模を示す「アウトプット」測定のみ行うものは、社会的インパクト評価ではない。
【アウトプット評価の例】「年4回のイベント開催を達成」、「参加人数が100人」等

- 「ロジックモデル」を活用し、アウトカムに至る論理的根拠を明らかにする。

✓ 設定した「活動・アウトプット」と「アウトカム」の間に、乖離や飛躍が生じていないかをチェック

◆ ロジックモデルのイメージ（成人病予防事業のケース）



出典) 社会的インパクト評価検討ワーキング・グループ「社会的インパクト評価の推進に向けて」(2016.3)

5. 評価の類型

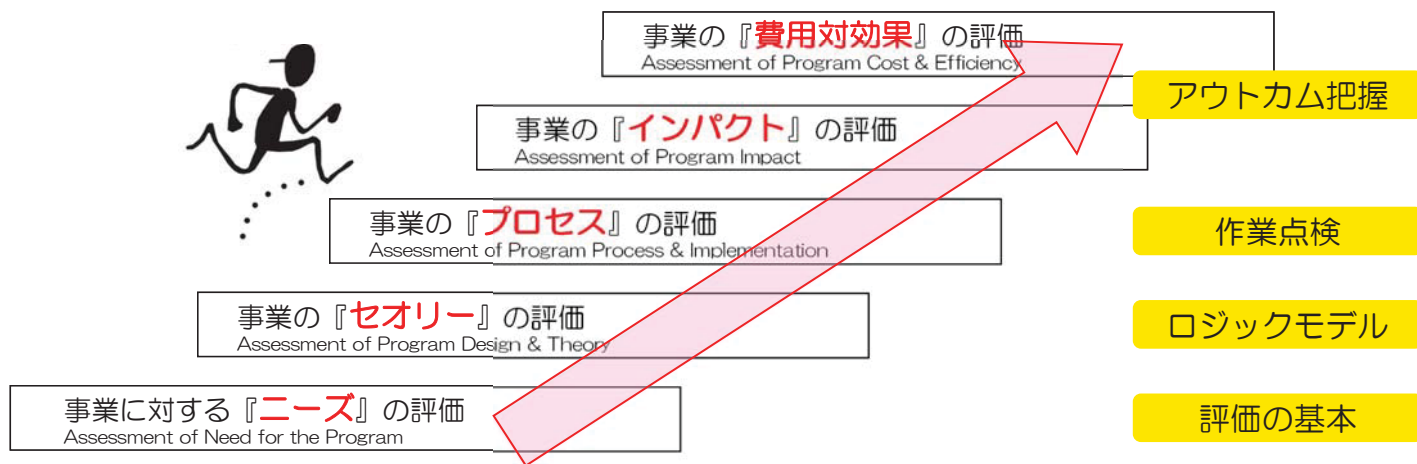
	形成的評価 Formative Evaluation	総括的評価 Summative Evaluation
だれが？ どこで？	主として事業担当者 組織内	主として意思決定者 組織外
いつ？	事業の設計・実施段階 日常的に実施	事業の実施後 中間・事後的に実施
なにを？	将来に焦点 日常的な出来事	過去に焦点 一般的な傾向
どのように？	改善に向けた強み・弱みの分析 ニーズ評価	成果の達成状況の報告 評価手法を用いた分析
なぜ？	フィードバック 組織としてのスキル	エビデンス 全体的態度の表明
つまり？	事業の実施状況を 確認 し、 改善 を行って いく際に役立つ情報を提供	事業の成果発現を 評定 し、外部に 説明 する際に役立つ情報を提供

コックがスープを味わう行為が「**形成的評価**」、客がスープの味を味わう行為が「**総括的評価**」

~ Scriven (1991)

6. 評価の段階

一連の評価において取り組むべきポイントは、図のような階段構造になっているといわれており、下の段の評価があってはじめて、上の段の評価に意味がでてくる。



出典) Rossi, Lipsey, Freeman (2004), *Evaluation 7th edition*, p.80

7. 評価の原則

1重要性 Materiality	経営者や従業員、資金仲介者、資金提供者を中心とした利害関係者が事業・活動を理解するための情報や、資金提供の意思決定を左右する社会的インパクトに関する情報が含まれるべき。
2比例性 Proportionality	評価の目的、評価を実施する組織の規模、組織が利用可能な資源に応じて評価の方法や、報告・情報開示の方法は選択されるべき。
3比較可能性 Comparability	比較が可能となるよう、以前のレポートと同じ期間、同じ対象と活動、同じ評価方法で関連づけられ、同じ構造をもって報告されるべき。
4利害関係者の参加・協働 Stakeholder involvement	社会的インパクト評価にあたっては、利害関係者が幅広く参加・協働すべき。
5透明性 Transparency	分析が正確かつ誠実になされた根拠を提示・報告し、利害関係者とその根拠について議論できるようにすべき。

Ⅱ 社会的インパクト評価の実践 ～K2インターナショナルジャパンの事例を中心に

(参考)内閣府「社会的インパクト評価の実践による人材育成・組織運営力強化調査」 評価を実践した社会的企業



- ニート・引きこもりの若者に対する就労移行支援事業
- 合宿生活を主体とした若者の自立支援プログラム
- 海外での就労体験プログラム
- 雇用環境の確保、等

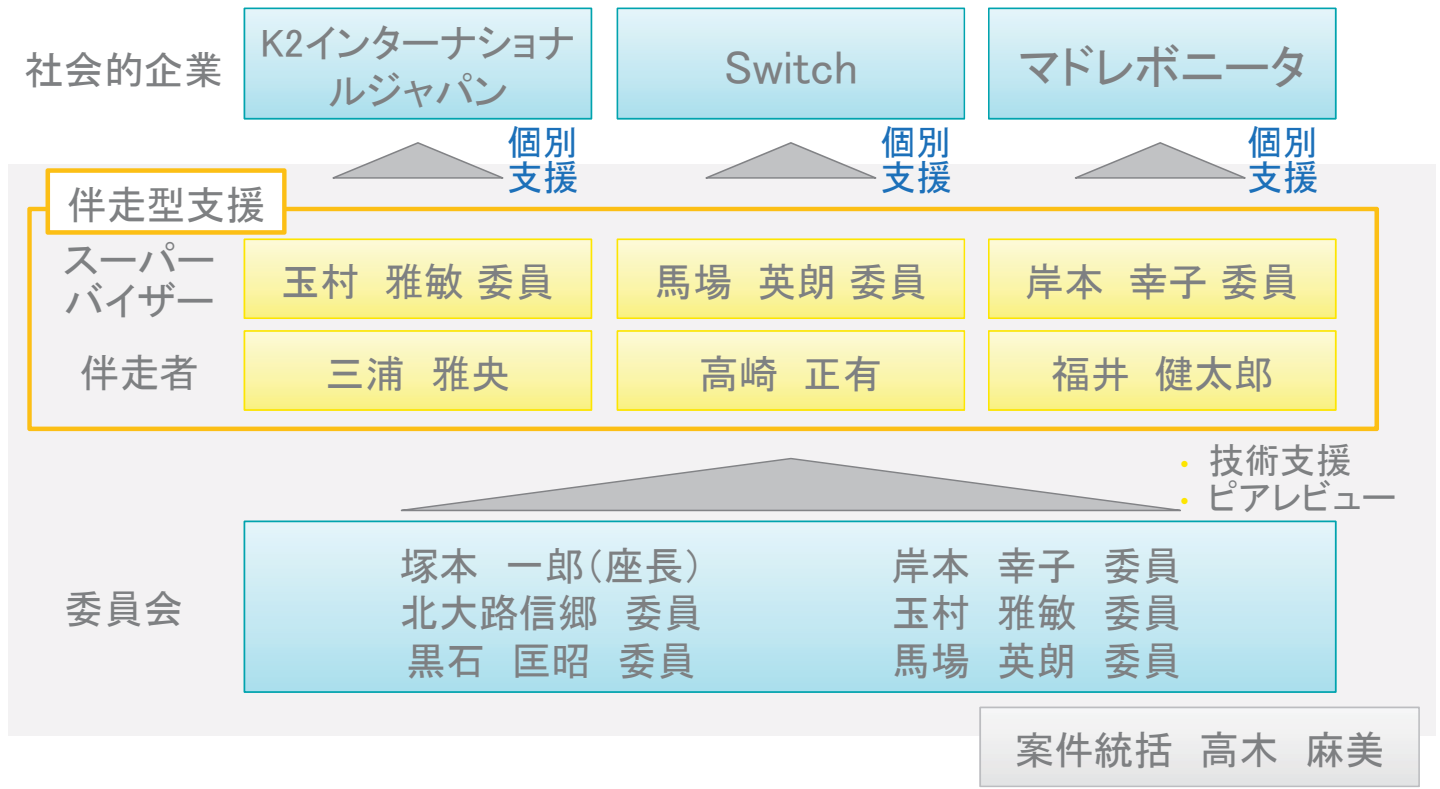


- 障害福祉サービス事業所困難を抱えた青年期の就学・就労支援(仙台NOTE、ユースサポートカレッジ石巻NOTE)
- メンタルヘルスリテラシー教育(予防教育事業)、等

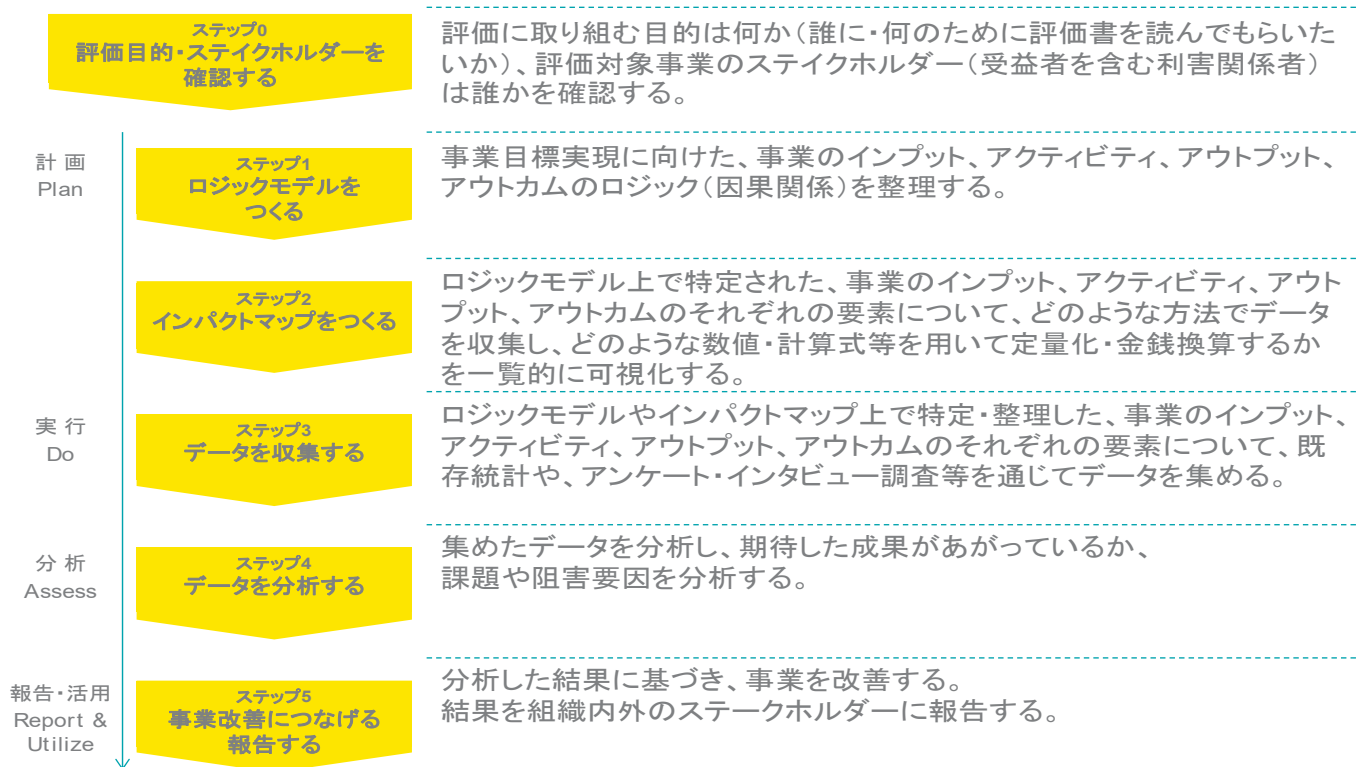
Madre Bonita

- 産前・産後のボディケア&フィットネス教室の開催
- 産後セルフケアインストラクター養成コース
- 調査・研究・開発事業

(参考)内閣府「社会的インパクト評価の実践による人材育成・組織運営力強化調査」実施体制



1. 評価のステップ



2. 評価の実践

【ステップ0】評価目的・ステークホルダーの確認

■まず確認すべきこと

- **社会にどのような変化**をもたらしたいのか？
- **今回評価に取り組む目的**は何か？

※ 誰に評価書を読んでもらいたいのか？ 資金提供者？ 自治体？ 利用者？ そして何のために？

- **どの事業**を評価するか？
- その事業の「**ステークホルダー**」は誰か？
- その事業の「**アウトカム**」は何か？

【参考】非営利組織の自己評価のための5つの質問

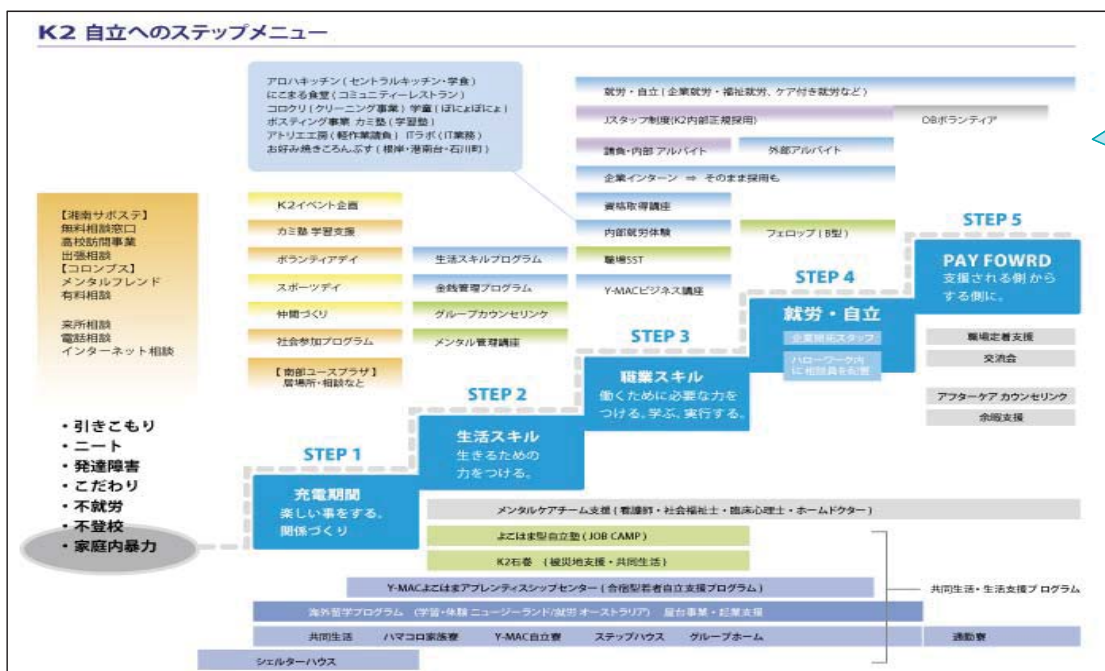
- われわれの使命は何か？
- われわれの顧客は誰か？
- 顧客は何を価値あるものとするか？
- われわれの成果は何か？
- われわれの計画は何か？

～ドラッカー「非営利組織の成果重視マネジメント」

2. 評価の実践

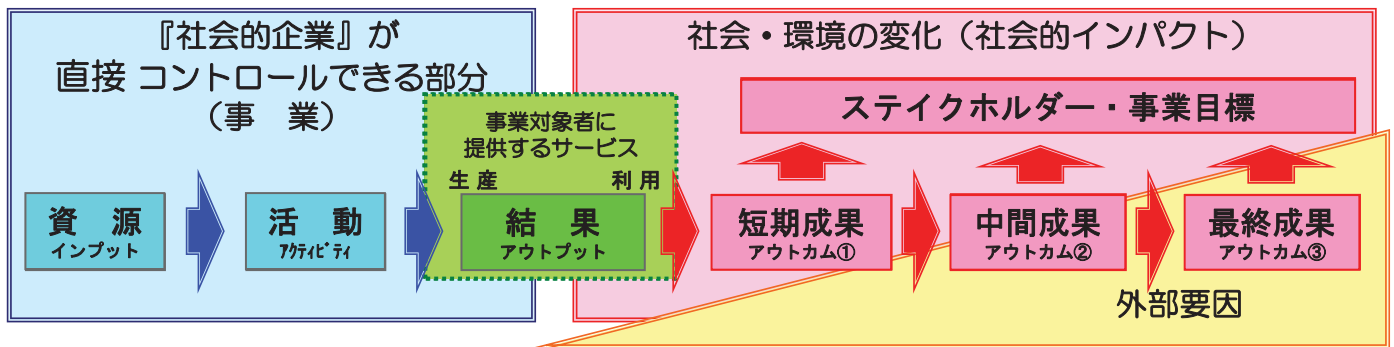
【ステップ0】評価目的・ステークホルダーの確認<事例>

【悩み・疑問】どこからどこまでを評価対象とすればよいのか？



複数の事業が絡み合っ
て成果を実現
⇒評価対象を「切り
出す」のが困難

2. 評価の実践 【ステップ1】ロジックモデルの作成

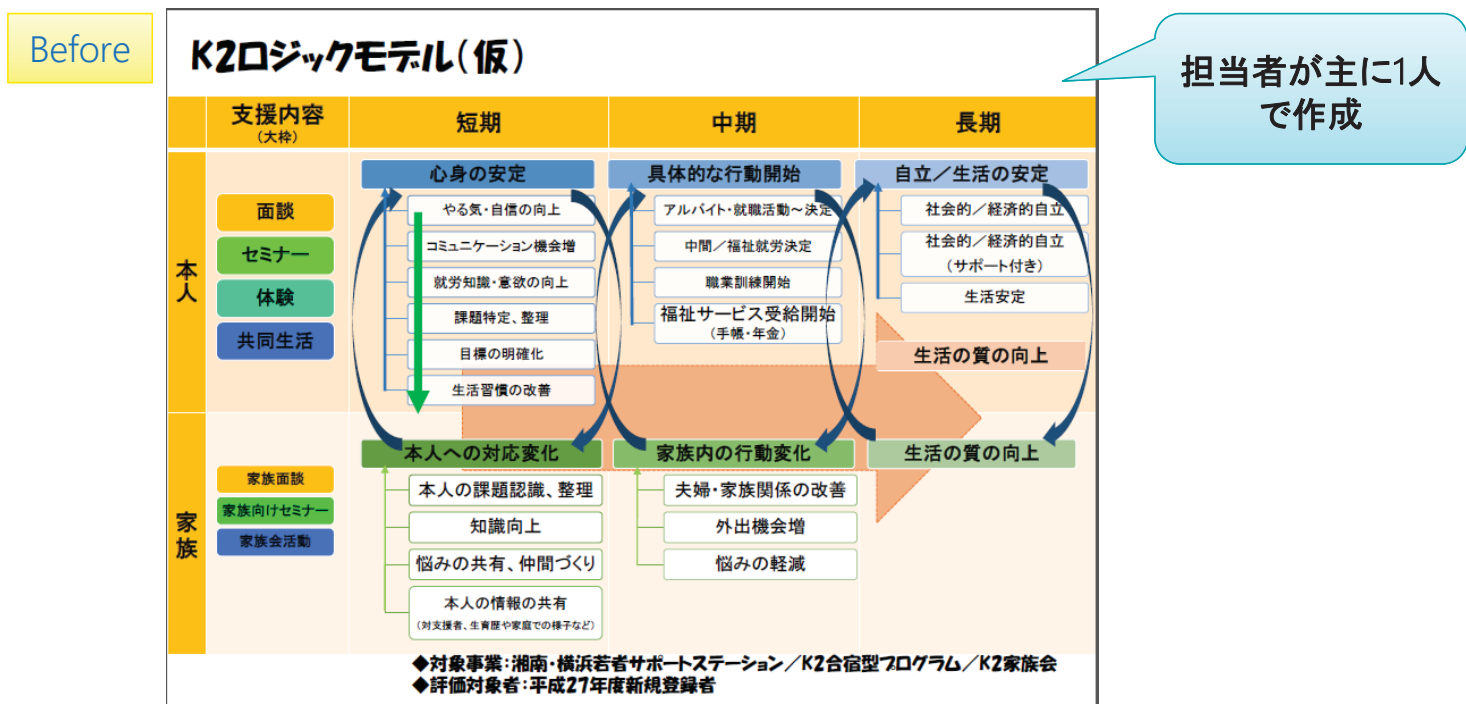


- 評価の世界でよく用いられる、『資源(インプット)』『活動(アクティビティ)』『結果(アウトプット)』『成果(アウトカム)』の関係は、上図のように一連の流れ図のような関係にある。

- 一資源(インプット) : 資金、人員・時間、場所・施設等、事業の実施に必要な投入物
- 一活動(アクティビティ) : 社会的企業のスタッフが実際に従事する具体的業務
- 一結果(アウトプット) : 社会的企業のスタッフの活動により産み出されるサービス
- 一成果(アウトカム) : サービスにより産み出される社会的・環境的な価値

2. 評価の実践 【ステップ1】ロジックモデルの作成<事例>

【悩み・疑問】ロジックモデルはどこまでいったら完成といえるのか？



2. 評価の実践 【ステップ1】ロジックモデルの作成<事例>

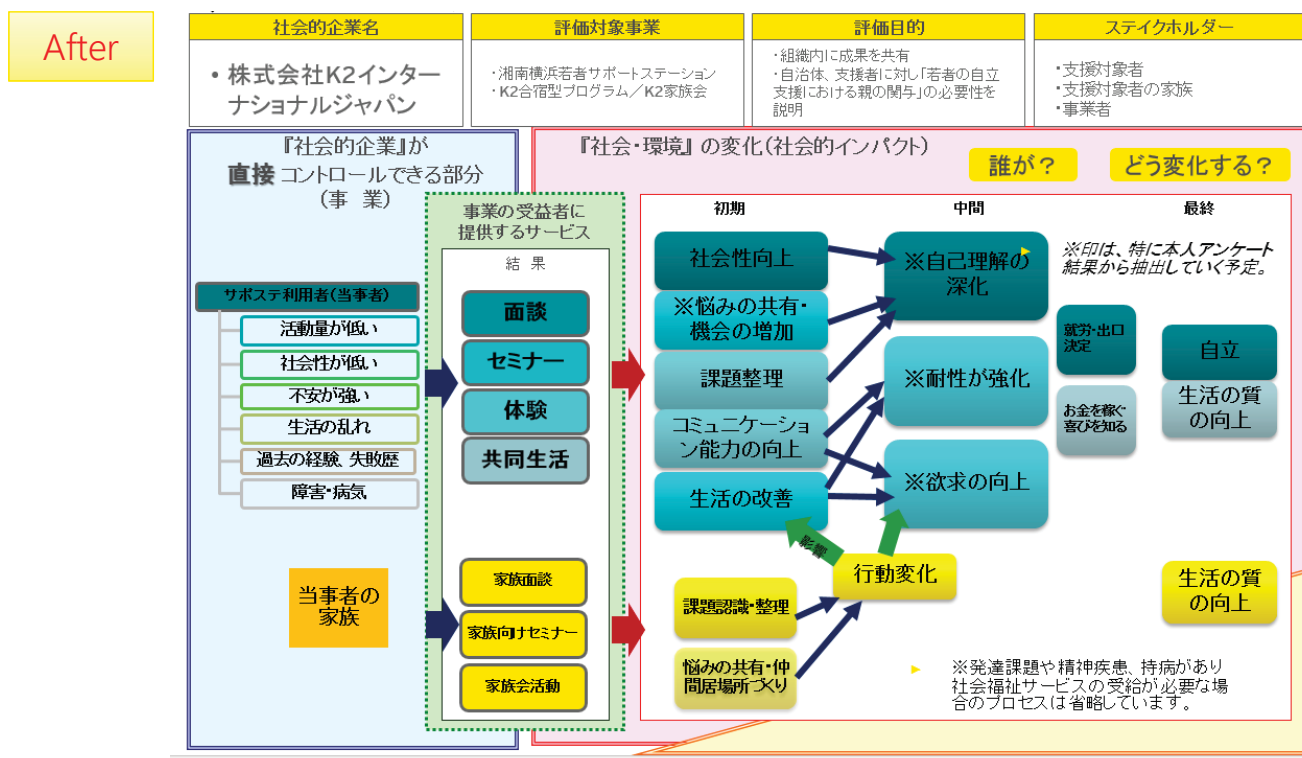
◆ロジックモデル作成のためのワークショップの様子



支援現場の中心となるメンバーを集め、ワークショップ形式で再度ロジックモデルを作成

出典) K2インターナショナルジャパン(2017)「インパクトレポート」(内閣府委託調査)

2. 評価の実践 【ステップ1】ロジックモデルの作成<事例>



出典) K2インターナショナルジャパン(2017)「インパクトレポート」(内閣府委託調査)

2. 評価の実践

【ステップ2】インパクトマップの作成

ステップ5
収集した指標値
を記載する

ステップ4で定義した指標・データを収集し、その結果を記載する。

ステップ6
金銭的代理指標
(財務プロキシ)
を明らかにする

ステップ5で記載した指標値を金額換算する際に用いる原単位(指標値1単位当たりの金銭的価値の考え方やその金額等)を記載する。

ステップ7
プログラムの
正味の効果を
明らかにする

ステップ5で記載した指標値を金額換算する際に考慮すべき影響度合い＝死荷重・寄与度・逓減等を記載する。

ステップ8
金銭的価値を
記載する

ステップ5～7で得られた情報・データを基に、インパクトの規模を金銭的価値で表現する。

どのぐらい?

ステップ
5

ステップ
6

ステップ
7

ステップ
8

指標・データ	指標値	金銭的代理指標 (財務プロキシ)	死荷重 寄与度 逓減等	金銭的価値

2. 評価の実践

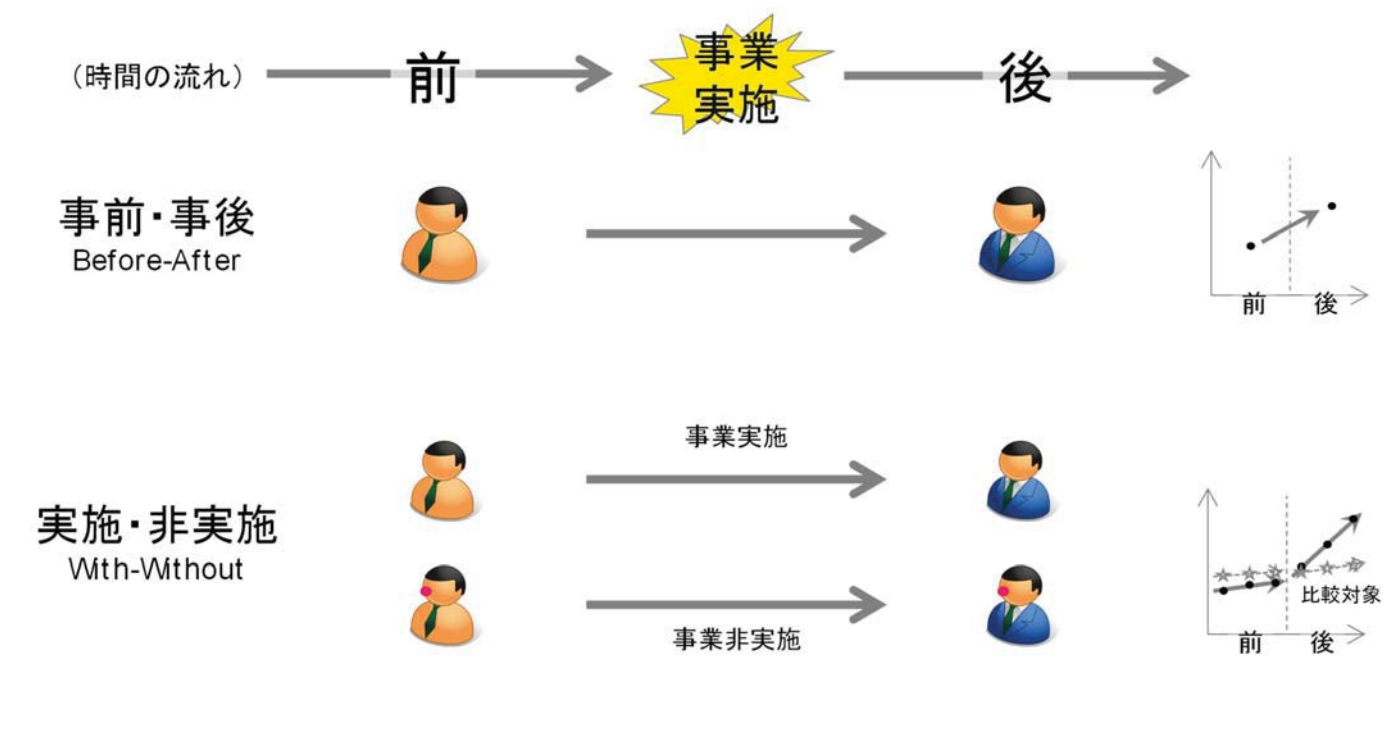
【ステップ2】インパクトマップの作成＜事例＞

計測するアウトカム1つ
1つについて指標を設定し、測定方法(データ収集の方法)洗い出し

結果・成果の別	ステイクホルダー 【誰が】	評価の問い 【どう変化するか】	測定方法	指標
①結果、②初期成果、 ③中期成果、④最終 成果	誰が変化するか? 誰に影響を与えるのか?	どのような変化をもたらすのか? どのような変化をもたらしたいのか?	どこで、どうやって情報を収集するか?	どうやって測定するか?
初期成果	支援対象者	社会性が向上する	クラウド入力	挨拶 敬語の使用 適切な報連相 適切な身だしなみ
		悩みの共有ができ、その機会が増加する	支援対象者アンケート	【問1】悩みを相談できる相手の有無 【問2】対人関係の不安 【問3】働くことへの不安
		自身の課題が整理できる	クラウド入力 支援対象者アンケート	自己理解 【問14】自己理解
		コミュニケーション能力が向上する	クラウド入力	他者との会話の機会 他者への興味 表情の変化
		生活の改善	クラウド入力 支援対象者アンケート	外出頻度 外出範囲 生活リズムの安定 食事リズム・バランスの安定 運動量の安定 家族関係の良好さ 健康状態の良好さ 【問4】外出機会の頻度 【問5】外出範囲 【問18】家族からの理解はあるか 【問19】家族からの支援はあるか

2. 評価の実践

【ステップ3】データを収集する／【ステップ4】データを分析する



2. 評価の実践

【ステップ3】データを収集する／【ステップ4】データを分析する<事例>

1. 利用者活動実績データ

▶既存のデータ管理システムに調査項目を追加設定。

対象者	27年度サポステ新規登録者で、3ヶ月以上支援を継続している当事者141名
実施期間	平成28年10月
調査項目概要	ロジックモデルの初期～中間アウトカムに設定した各項目について第三者からの視点で整理 ①属性情報(性別、生年月日、障害者手帳の有無等) ②インテーク時情報(外出機会、生活リズム、家族関係、社会スキル等) ③経過記録情報(インテーク時と同様の項目)
備考	セールフォースのクラウドシステムに支援者が情報を入力

2. 利用者向けアンケート

▶各設問、「初回来所時」と「現在」の2時点で確認。

対象者	上記対象者141名に配布し、回収できた68名
実施期間	平成28年11月
調査項目概要	ロジックモデルの初期～中間アウトカムに設定した各項目について、本人主観でしか分かり得ない成果を中心に設問を設定。全21問から構成(相談の対象者、対人関係不安、外出頻度、身だしなみ、自己肯定感、就きたい職業イメージの有無等)
備考	アンケート調査票は支援者から手渡しで配布・回収 利用者活動実績データと紐付を実施

2. 評価の実践

【ステップ3】データを収集する／【ステップ4】データを分析する＜事例＞

カスミリンク

新経過記録-000308

新経過記録の詳細

利用者名 XXXXXXXXXX

作成者 XXXXXXXXXX

入力日 XXXXXXXXXX

備考 XXXXXXXXXX

所有者 ▼

新経過記録ID ▼

編集 削除 コピー

▼生活面

外出機会はあるか? 4 ある程度あてはまる

外出範囲は広がっているか? 3 どちらともいえない

生活リズムは安定しているか? 3 どちらともいえない

食事リズム・バランスは安定しているか? 3 どちらともいえない

運動量は安定しているか? 3 どちらともいえない

家族関係は良好か? 4 ある程度あてはまる

健康状態は良好か? 3 どちらともいえない

▼コミュニケーション

他者との会話の機会はあるか? 4 ある程度あてはまる

他者への興味はあるか? 4 ある程度あてはまる

表情の変化はあるか? 4 ある程度あてはまる

▼社会スキル一般常識

挨拶はできるか? 4 ある程度あてはまる

敬語は使えるか? 4 ある程度あてはまる

雑談は適切にできるか? 4 ある程度あてはまる

身だしなみは適切か? 4 ある程度あてはまる

身だしなみの明確な変化 4 ある程度あてはまる

身だしなみの明確な変化(その他)

フェロップ利用者
ハタラホ利用者
パン屋のオヤジ利用者
トライ利用者
Job core利用者
Y-mac利用者
MK×石巻利用者
MK×横浜利用者
HuHouse利用
自立援助ホーム利用者
メンタルサポート利用者
横浜型ファーム利用者
横浜型拡充利用者

各設問、5段階もしくは0/1で評価する。
同内容の設問を「インテーク記録 (=初回来所時の記録)」のページにも新たに設定した。

出典) K2インターナショナルジャパン・内閣府委託調査最終報告会資料

2. 評価の実践

【ステップ3】データを収集する／【ステップ4】データを分析する＜事例＞

利用者アンケート

はじめに

- ・ このアンケート調査は、K2グループの今後の支援プログラムを改善するために、利用者の現状を把握することを目的としています。回答は初回来所時（登録時）と現在の状況を伺う構成になっています。初回来所時を振り返っていただくとともに、現在の状況についてもご回答ください。
- ・ なお、調査の結果は全て統計的に処理しますので、個々の回答者がどのように回答したのかは明らかになることはありません。
- ・ 質問事項や選択肢について不明な点があれば、K2事務局（045-750-0039）、またはご登録しているK2の事業所にお問い合わせください。
- ・ 全ての質問に回答した後、11月18日（金）までに配布元の事業所までご提出ください。
- ・ ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

1. あなたが、悩みを相談する人はなだですか。該当する方全てにチェックしてください。

(初回来所時)

父親、 母親、 兄弟、 おじ、 おば、 祖父、 祖母
 友人、 友人（ネット上）、 知人、 支援者、 医者、 専門家、 その他

(現在)

父親、 母親、 兄弟、 おじ、 おば、 祖父、 祖母
 友人、 友人（ネット上）、 知人、 支援者、 医者、 専門家、 その他

2. 対人関係について不安はありますか。該当する番号に○をしてください。

(初回来所時)

1	2	3	4	5	9
全くない	あまりない	どちらでもない	ある程度ある	とてもある	わからない
----- ----- ----- ----- ----- -----					

(現在)

1	2	3	4	5	9
全くない	あまりない	どちらでもない	ある程度ある	とてもある	わからない
----- ----- ----- ----- ----- -----					

3. 働くことに不安はありますか。該当するものに○をしてください。

(初回来所時)

1	2	3	4	5	9
全くない	あまりない	どちらでもない	ある程度ある	とてもある	わからない
----- ----- ----- ----- ----- -----					

(現在)

1	2	3	4	5	9
全くない	あまりない	どちらでもない	ある程度ある	とてもある	わからない
----- ----- ----- ----- ----- -----					

4. 外出する頻度はどの程度ありますか。該当するものに○をしてください。

(初回来所時)

1	2	3	4	5	9
ほとんど外出しない	週1回未満	週1回程度	週に2~3回程度	ほぼ毎日	わからない
----- ----- ----- ----- ----- -----					

(現在)

1	2	3	4	5	9
ほとんど外出しない	週1回未満	週1回程度	週に2~3回程度	ほぼ毎日	わからない
----- ----- ----- ----- ----- -----					

出典) K2インターナショナルジャパン・内閣府委託調査最終報告会資料

2. 評価の実践

【ステップ3】データを収集する／【ステップ4】データを分析する＜事例＞

【悩み・疑問】せっかくアンケートをするのだからあれもこれも聞きたい。

Before

初期値/産後2ヶ月	初期/修了直後	8 中間(1)/復職2ヶ月前	6 中間(2)/復職後1年
1) 自分が「一日中寝込む」または「入院する」ということがあった	A 1) 自分が「一日中寝込む」または「入院する」ということがあった	◎ A 1) 自分が「一日中寝込む」または「入院する」ということがあった	◎ A 1) 自分が「一日中寝込む」または「入院する」ということがあった
2) 心身の回復	初期/修了直後 15 中間(1)/復職2ヶ月前 8 中間(2)/復職後1年		
3) 私は今、自分らしく、生きている。(旧「アイデンティティ」)	A 1) 私は今、自分らしく、生きている。(旧「アイデンティティ」)	◎ A 1) 私は今、自分らしく、生きている。(旧「アイデンティティ」)	◎ A 1) 私は今、自分らしく、生きている。(旧「アイデンティティ」)
4) 社会との繋がりが	初期/修了直後 11 中間(1)/復職2ヶ月前 12 中間(2)/復職後1年 15		
5) 2) 家族以外と1週間以上に会話しなことがある(レジ・宅配便などを除く)	B 1) 家族以外と1週間以上に会話しなことがある(レジ・宅配便などを除く)	◎ B 1) 家族以外と1週間以上に会話しなことがある(レジ・宅配便などを除く)	◎ B 1) 家族以外と1週間以上に会話しなことがある(レジ・宅配便などを除く)
6) 3) 1) 2時間以上の外出を週3回以上している	B 2) 1) 2時間以上の外出を週3回以上している	◎ B 2) 1) 2時間以上の外出を週3回以上している	◎ B 2) 1) 2時間以上の外出を週3回以上している
7) 4) パートナースHIP	初期/修了直後 7 中間(1)/復職2ヶ月前 4 中間(2)/復職後1年 3		
8) 5) パートナーと協力して豊かな人生を歩みたい	A 1) パートナーと協力して豊かな人生を歩みたい	◎ A 1) パートナーと協力して豊かな人生を歩みたい	◎ A 1) パートナーと協力して豊かな人生を歩みたい
6) 6) パートナーといると本当に愛していると実感する	A 2) パートナーといると本当に愛していると実感する	◎ A 2) パートナーといると本当に愛していると実感する	◎ A 2) パートナーといると本当に愛していると実感する
7) 7) パートナーと人生や仕事についての話をしている	A 3) パートナーと人生や仕事についての話をしている	◎ A 3) パートナーと人生や仕事についての話をしている	◎ A 3) パートナーと人生や仕事についての話をしている
8) 8) パートナーとの平日1日の平均会話時間は①15分未満 ②15分以上1時間未満 ③1時間以上2時間未満 ④2時間以上	A 4) パートナーとの平日1日の平均会話時間は①15分未満 ②15分以上1時間未満 ③1時間以上2時間未満 ④2時間以上	◎ A 4) パートナーとの平日1日の平均会話時間は①15分未満 ②15分以上1時間未満 ③1時間以上2時間未満 ④2時間以上	◎ A 4) パートナーとの平日1日の平均会話時間は①15分未満 ②15分以上1時間未満 ③1時間以上2時間未満 ④2時間以上
9) 9) 我が家は「女性が家事・育児の主となる担い手である」という前提だ	A 5) 我が家は「女性が家事・育児の主となる担い手である」という前提だ	◎ A 5) 我が家は「女性が家事・育児の主となる担い手である」という前提だ	◎ A 5) 我が家は「女性が家事・育児の主となる担い手である」という前提だ
10) 10) パートナーは子どもの生活に合わせた働き方をしている(旧「パートナーの家事や育児の取り組みに満足している」)	A 6) パートナーは子どもの生活に合わせた働き方をしている(旧「パートナーの家事や育児の取り組みに満足している」)	◎ A 6) パートナーは子どもの生活に合わせた働き方をしている(旧「パートナーの家事や育児の取り組みに満足している」)	◎ A 6) パートナーは子どもの生活に合わせた働き方をしている(旧「パートナーの家事や育児の取り組みに満足している」)
11) 11) 産後のパートナーシップは重要だ	C 7) パートナーに自分の言葉で気持ちや意志を伝えることができる	◎ B 7) パートナーに自分の言葉で気持ちや意志を伝えることができる	◎ B 7) パートナーに自分の言葉で気持ちや意志を伝えることができる
12) 12) 社会復帰にあたってのパートナーシップの重要性を実感している	C 8) パートナーは私に自分の言葉で気持ちや意志を伝えてくれる	◎ B 8) パートナーは私に自分の言葉で気持ちや意志を伝えてくれる	◎ B 8) パートナーは私に自分の言葉で気持ちや意志を伝えてくれる
13) 13) 「パートナーシップ」というものを客観的に意識している	C 9) 産後のパートナーシップは重要だ	◎ C 9) 産後のパートナーシップは重要だ	◎ C 9) 産後のパートナーシップは重要だ
14) 14) パートナーに自分の言葉で気持ちや意志を伝えることができる	B 10) 「パートナーシップ」というものを客観的に意識している	◎ D 10) 産前に向けての準備をパートナーと一緒に進め、進められていると感じる(或「復職の準備を自分進められている」と感じる)	◎ D 10) 産前に向けての準備をパートナーと一緒に進め、進められていると感じる(或「復職の準備を自分進められている」と感じる)
15) 15) パートナーは私に自分の言葉で気持ちや意志を伝えてくれる	B 11) 子どもを夫に預けて外出したことがある	C	D
16) 16) 子どもを夫に預けて外出したことがある	C		D

当初の設問は160問

出典)内閣府委託調査・最終報告会資料

2. 評価の実践

【ステップ3】データを収集する／【ステップ4】データを分析する＜事例＞

「インパクトを測る」質問にフォーカス。Before-After、With-Withoutでの比較を意識した調査票設計。⇒設問を60問まで削減

After

<p>【「産後ケア制度」を受講した方】「産後ケア制度」受講前後の状況変化について</p> <p>まずは産後の産育休中に受講された「産後ケア制度」の受講前から産後直後にあった起きた変化や状況について教えてください。2コース以上リポート受講された方は、複数の空欄に教えてください。</p> <p>例: 多分ですが「産後ケア制度」を受講したのは、産後何ヶ月でしたか? 一部空欄の枠を把握するのみ、前後リポートは必要ない。</p> <p>①-産後2ヶ月、 ②産後3ヶ月、 ③産後4ヶ月、 ④産後5ヶ月、 ⑤産後6ヶ月、 ⑥産後7ヶ月以上</p> <p>5. 「産後うつ」になりましたか? -受講前と受講後の回答が、受講前と受講後と異なる場合</p> <table border="1"> <tr> <td>「産後うつ」の症状が軽くなった</td> <td>「産後うつ」の症状が軽くなった</td> <td>「産後うつ」の症状が軽くなった</td> <td>「産後うつ」の症状が軽くなった</td> <td>「産後うつ」の症状が軽くなった</td> </tr> <tr> <td>「産後うつ」の症状が軽くなった</td> <td>「産後うつ」の症状が軽くなった</td> <td>「産後うつ」の症状が軽くなった</td> <td>「産後うつ」の症状が軽くなった</td> <td>「産後うつ」の症状が軽くなった</td> </tr> </table> <p>9. 次のような「産後の体のダメージ」は解消しましたか? -一定の割合</p> <table border="1"> <tr> <td>体の痛み(腰、肩、手足など)</td> <td>体の痛み(腰、肩、手足など)</td> <td>体の痛み(腰、肩、手足など)</td> <td>体の痛み(腰、肩、手足など)</td> <td>体の痛み(腰、肩、手足など)</td> </tr> <tr> <td>体の痛み(腰、肩、手足など)</td> <td>体の痛み(腰、肩、手足など)</td> <td>体の痛み(腰、肩、手足など)</td> <td>体の痛み(腰、肩、手足など)</td> <td>体の痛み(腰、肩、手足など)</td> </tr> </table>	「産後うつ」の症状が軽くなった	「産後うつ」の症状が軽くなった	「産後うつ」の症状が軽くなった	「産後うつ」の症状が軽くなった	「産後うつ」の症状が軽くなった	「産後うつ」の症状が軽くなった	「産後うつ」の症状が軽くなった	「産後うつ」の症状が軽くなった	「産後うつ」の症状が軽くなった	「産後うつ」の症状が軽くなった	体の痛み(腰、肩、手足など)	体の痛み(腰、肩、手足など)	体の痛み(腰、肩、手足など)	体の痛み(腰、肩、手足など)	体の痛み(腰、肩、手足など)	体の痛み(腰、肩、手足など)	体の痛み(腰、肩、手足など)	体の痛み(腰、肩、手足など)	体の痛み(腰、肩、手足など)	体の痛み(腰、肩、手足など)	<p>【「産後ケア制度」を受講した方】「産後ケア制度」受講前後の状況変化について</p> <p>10. 家への帰来やイライラ感や不安感はありましたか? -受講前と受講後の回答が、受講前と受講後と異なる場合</p> <table border="1"> <tr> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> </tr> <tr> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> </tr> </table> <p>11. 昔の子ども(上の子ども)に対して「愛情」を注ぎたいと思うようになりましたか? -受講前と受講後の回答が、受講前と受講後と異なる場合</p> <table border="1"> <tr> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> </tr> <tr> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> </tr> </table> <p>12. 1時間以上の外出を週3回以上している</p> <table border="1"> <tr> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> </tr> <tr> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> </tr> </table>	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	<p>13. 「産後の体のダメージ」が軽減されましたか? -受講前と受講後の回答が、受講前と受講後と異なる場合</p> <table border="1"> <tr> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> </tr> <tr> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> </tr> </table> <p>14. 「産後」に向けての準備をパートナーと進めましたか? -受講前と受講後の回答が、受講前と受講後と異なる場合</p> <table border="1"> <tr> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> </tr> <tr> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> </tr> </table> <p>15. パートナー(配偶者)との平日1日の平均会話時間はどれくらいになりましたか? -受講前と受講後の回答が、受講前と受講後と異なる場合</p> <table border="1"> <tr> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> </tr> <tr> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> </tr> </table> <p>16. 産後のケア制度受講後、パートナーに自分の言葉で気持ちや意志を伝えるようになりましたか? -一定の割合の回答</p> <table border="1"> <tr> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> </tr> <tr> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> <td>「産後ケア制度」受講前</td> <td>「産後ケア制度」受講後</td> </tr> </table>	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後
「産後うつ」の症状が軽くなった	「産後うつ」の症状が軽くなった	「産後うつ」の症状が軽くなった	「産後うつ」の症状が軽くなった	「産後うつ」の症状が軽くなった																																																																																																						
「産後うつ」の症状が軽くなった	「産後うつ」の症状が軽くなった	「産後うつ」の症状が軽くなった	「産後うつ」の症状が軽くなった	「産後うつ」の症状が軽くなった																																																																																																						
体の痛み(腰、肩、手足など)	体の痛み(腰、肩、手足など)	体の痛み(腰、肩、手足など)	体の痛み(腰、肩、手足など)	体の痛み(腰、肩、手足など)																																																																																																						
体の痛み(腰、肩、手足など)	体の痛み(腰、肩、手足など)	体の痛み(腰、肩、手足など)	体の痛み(腰、肩、手足など)	体の痛み(腰、肩、手足など)																																																																																																						
「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後																																																																																																					
「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後																																																																																																					
「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後																																																																																																					
「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後																																																																																																					
「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後																																																																																																					
「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後																																																																																																					
「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後																																																																																																					
「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後																																																																																																					
「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後																																																																																																					
「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後																																																																																																					
「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後																																																																																																					
「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後																																																																																																					
「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後																																																																																																					
「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後	「産後ケア制度」受講前	「産後ケア制度」受講後																																																																																																					

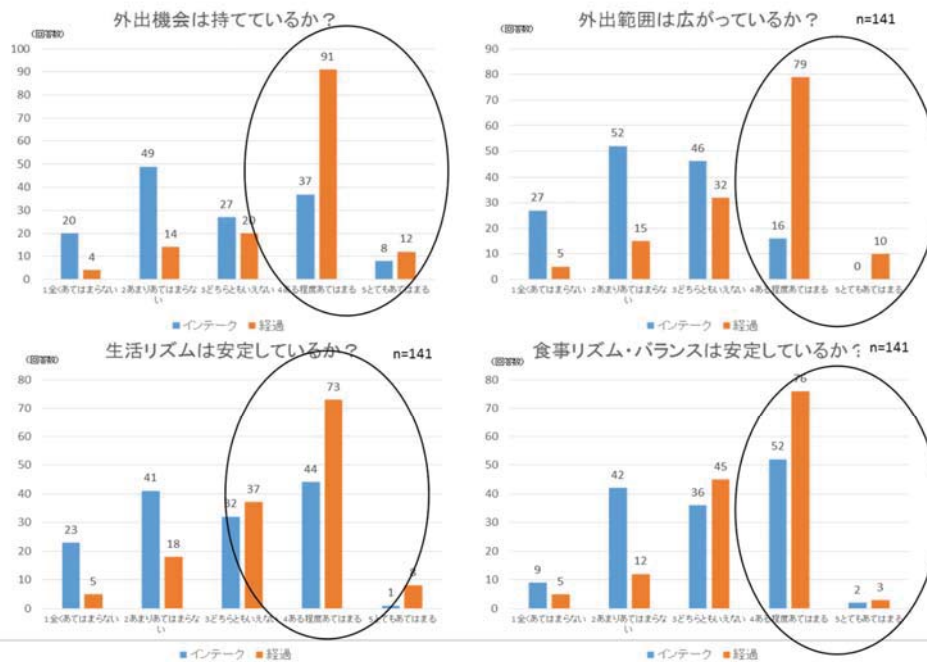
2. 評価の実践

【ステップ3】データを収集する／【ステップ4】データを分析する＜事例＞

【悩み・疑問】データはどうやって分析するのか？

▶外出機会は増加し、範囲も広がっている。支援機関に繋がったことで、確実に改善が見える部分。生活リズムは明らかに安定。

伴走者が担当者向けのExcel研修を実施
⇒自分たちで分析



出典)K2インターナショナルジャパン(2017)「インパクトレポート」(内閣府委託調査)

2. 評価の実践

【ステップ3】データを収集する／【ステップ4】データを分析する＜事例＞

【悩み・疑問】分析結果は統計的に有意なのか？

伴走者が統計解析を実施

番号	質問文	平均点		平均値の差	
		インタビュー時	経過時		
問2	対人関係について不安はありますか。	4.20	3.42	-0.78	***
問3	働くことに不安はありますか。	4.44	3.59	-0.85	***
問4	外出する頻度はどの程度ありますか。	3.52	4.57	1.05	***
問5	日常生活において、外出範囲は広がったと思いますか。	2.52	3.87	1.35	***
問6	日常生活は楽しいと思いますか。	2.53	3.45	0.92	***
問7	心を許せる友人が欲しいと思いますか。	3.41	3.78	0.37	***
問8	行きたいところや、やりたいこと、欲しいものなどありますか。	3.24	3.95	0.71	***
問9	あなたは身だしなみ・おしゃれに関心がありますか。	2.63	3.25	0.62	***
問10	支援者や周りの人のアドバイスに対して前向きに受け入れようと思いますか。	3.43	4.16	0.74	***
問11	新しいことに挑戦したいと思いますか。	2.70	3.80	1.10	***
問12	日常で落ち込むことがありますか。	4.13	3.69	-0.45	***
問13	自分のことが好きですか。	2.28	2.70	0.42	***
問14	今の自分の得意・不得意を理解していると思いますか。	3.14	3.72	0.59	**
問15	自分が就きたい仕事についてのイメージはありますか。	2.46	3.44	0.98	***
問16	自分が就きたい仕事に向けて必要なことを理解していると思いますか。	3.38	3.65	0.28	
問17	自分が就きたい仕事に向けて行動していますか。	2.43	3.71	1.29	***
問18	家族はあなたのことを理解していると思いますか。	3.15	3.63	0.48	***
問19	あなたは家族に支援されていると思いますか。	3.68	4.16	0.48	***
問20	ご両親とあなたの関係は、良いと思いますか。	3.09	3.63	0.53	***
問21	あなたは生活に満足していますか。	2.20	2.90	0.70	***

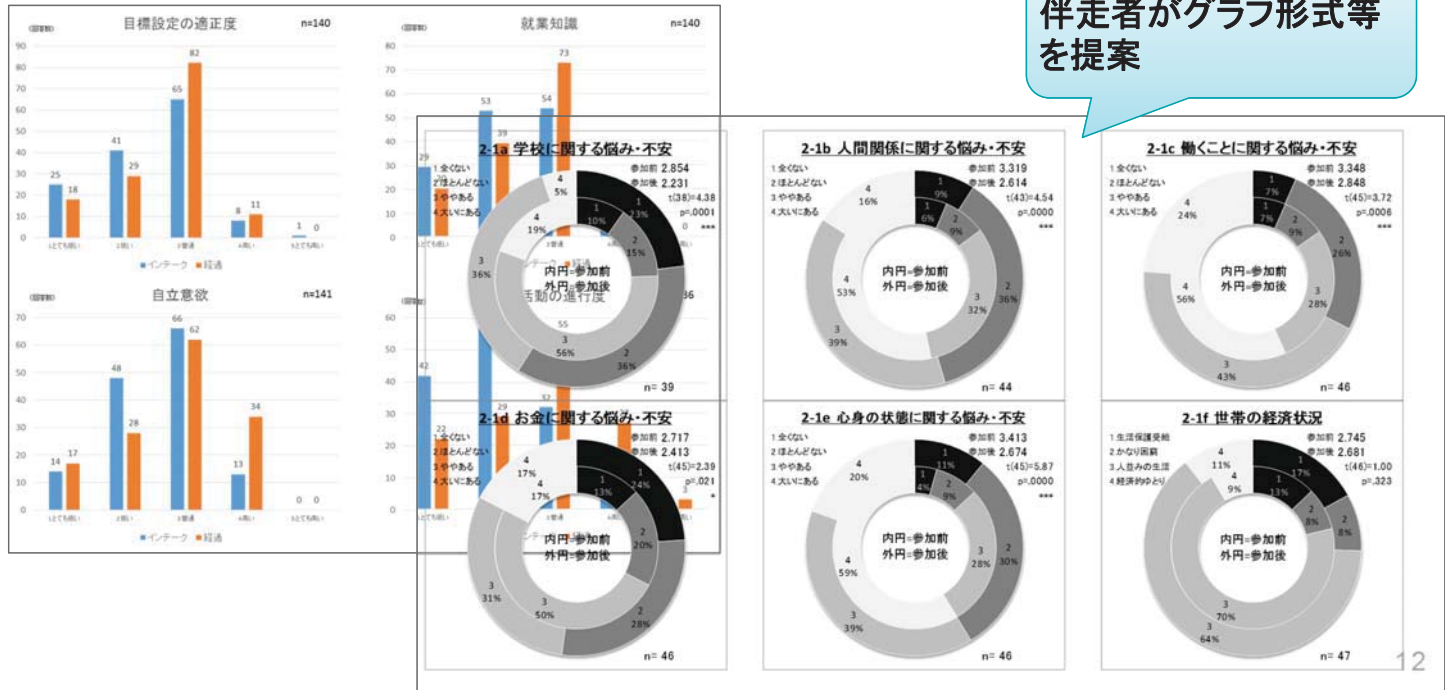
5段階リッカートの平均値を算出。対応のあるサンプルのt検定(両側)を行い、 $p < .001$ ***、 $p < .01$ **、 $p < .05$ *とした。

出典)K2インターナショナルジャパン(2017)「インパクトレポート」(内閣府委託調査)

2. 評価の実践 【ステップ5】報告する<事例>

【悩み・疑問】分析結果をどのように見せる(魅せる)のか？

伴走者がグラフ形式等を提案



2. 評価の実践 【ステップ5】報告する<事例>

内閣府「社会的インパクト評価の実践による人材育成・組織運営力強化調査」

インパクトレポート

2017年3月



内閣府「社会的インパクト評価の実践による人材育成・組織運営力強化調査」

インパクトレポート

2017年3月



内閣府「社会的インパクト評価の実践による人材育成・組織運営力強化調査」

インパクトレポート

2017年3月



特定非営利活動法人マドレボニータ

Ⅲ 社会的インパクト評価の意義と課題

1. 社会的インパクト評価の意義 ① 評価実践者の声

「自分たちの活動のどの部分を可視化し、評価し、アピールしたいのかということを確認し、実践していく中で、自分たちの活動について考えを深めることができた。またプロセスを法人内で共有しながら進めることで、各人の事業に対する理解が深まり、チームワーク形成の機会となった。」

—K2インターナショナルジャパン

「外部に対しては、事業報告書への活用や、インパクトレポートを企業へ活動をアピールするツールにできればと考えている。内部的には、支援内容の再考や、自分たちの法人の社会的意義の確認、そして今後の事業の方向性を策定するための材料にして行く。」

—Switch

(評価を実践してよかったと思う点、気づき)「団体内でも社会的インパクト評価についての知識を得て、インパクト志向になるきっかけを得た点。また、評価の結果を受け、自分たちが取り組んできたことの意義をあらためて感じ、モチベーションが生まれている点。」

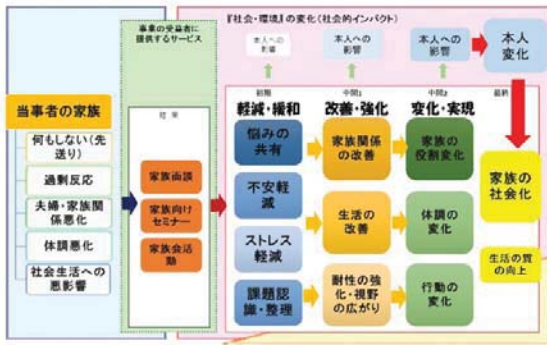
—マドレボニータ

1. 社会的インパクト評価の意義

②評価の活用<事例>

K2の活用事例

- ★セールスフォース(データベース)の項目見直し
- ★当事者向けの冊子作成(中)
- ★内部スタッフ・当事者/家族・関係機関などからの反響
- ★家族主体の支援ロジックモデル作成⇒分析に向けて



出典) K2インターナショナルジャパン Social Impact Day 2017資料

1. 社会的インパクト評価の意義

②評価の活用<事例>

マドレボニーターの活用事例

評価の活用

プレスリリース

公式ブログ

企業向け営業資料

出典) マドレボニーター Social Impact Day 2017資料

1. 社会的インパクト評価の意義

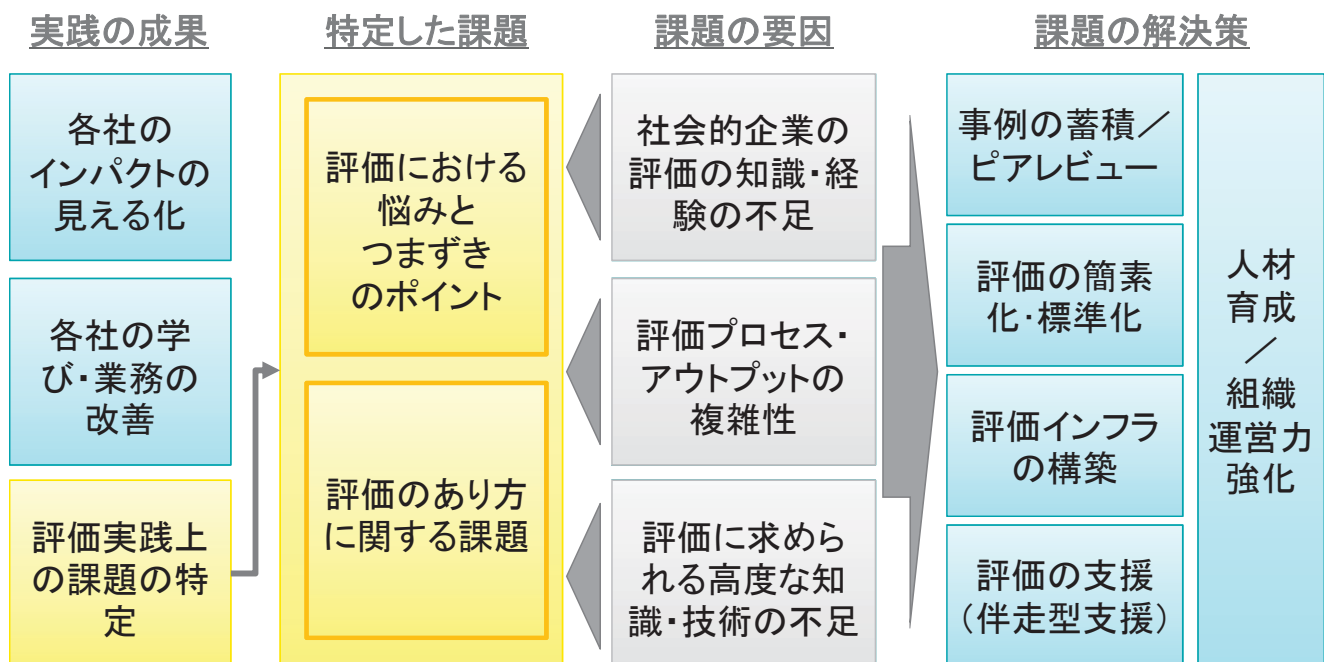
② 評価の活用＜事例＞

Switchの活用事例

<p>✓ 東北におけるインパクト評価の理解促進</p> <p>■ 東北圏域の中間支援団体との連携による、評価の理解促進</p> <p>仙台市 3月16日</p>  <p>福島市 7月8日(予定)</p> 	<p>✓ ステークホルダーへの説明責任</p> <p>■ 2014年から3期にわたり助成を受けた助成団体への報告書に概要を掲載。 3月30日 発行</p> 	<p>✓ ファンドレイジングへの活用</p> <p>■ 行政主体の助成事業の企画提案書に、評価の概要を添付。 6月2日 受託決定</p> 
---	--	---

出典) Switch Social Impact Day 2017資料

2. 評価実践上の課題



出典) 新日本有限責任監査法人(2017)「社会的インパクト評価の実践による人材育成・組織運営力強化調査－最終報告書－」(内閣府委託調査)

2. 評価実践上の課題

①悩みとつまずきのポイント<例>

【Step1】ロジックモデルを作る

“何を見たいのか、何を示すモデルなのかが明確に分かっていないと難しい。”

– K2

【Step2】インパクトマップをつくる

“ここでどういうデータを抽出するのか、どう分析するのか、どう集めるのか、評価設計を明確にしておくために、内容の吟味が必要であり、専門的な知識も不可欠であったが、現場とのすり合わせも綿密に行う必要があった。” – K2

【Step3】データを収集する

“過去の利用者データの収集に関して、クラウド上で活動状況は記録していたものの、集計の仕組みが機能しておらず、一人一人手作業で確認することとなり、膨大な労力を費やすこととなった。” – Switch

2. 評価実践上の課題

①悩みとつまずきのポイント<例>

【Step4】データを分析する

“金銭換算の際の指標の取り方等は、法人外の客観的な意見が必要になる場面が多かった。” – Switch

“全件データが取れる状態であれば問題ないが、部分的なデータから拡大推計する際の指標が、自分たちだけでは気づかず、気づいたとしても、固めの推計まで至ることはできなかったと考える。” – Switch

【Step5】事業改善につなげる・報告する

“最終的にインパクトを一枚で可視化することを目指していたが、どのような見方で表現すべきか、先行事例を多く確認し、それぞれの良い点・悪い点を、時間をかけて確認する必要があった。” – Switch

2. 評価実践上の課題

①悩みとつまずきのポイント

ステップ	悩みとつまずきのポイント
【ステップ0】 評価目的・ステークホルダーを確認する	a) 評価目的として何を掲げるか b) 評価対象をどのように設定するか
【ステップ1】 ロジックモデルをつくる	c) 評価の対象とする「インパクト」の定義は何か d) ロジックモデルはどこまでできたら完成なのか
【ステップ2】 インパクトマップをつくる	e) 指標をどのように設定するか
【ステップ3】 データを収集する	f) どのようなデータを収集するか g) 組織内に評価に活用できるデータはあるか／組織内のデータをどのように蓄積・活用するか h) アンケート調査票をどのように設計するか i) アンケート調査をどのような手法で行うか
【ステップ4】 データを分析する	j) データクリーニングはどのようにすればよいのか k) データ分析はどのようにすればよいのか l) 分析結果は統計的に有意か／統計解析は必要か
【ステップ5】事業改善につなげる・報告する	m) データ分析の結果をどのように示せばよいのか n) 分析の結果をどのように解釈するか

出典)新日本有限責任監査法人(2017)「社会的インパクト評価の実践による人材育成・組織運営力強化調査－最終報告書－」(内閣府委託調査)

2. 評価実践上の課題

②評価のあり方に関する課題

- どのような評価体制で臨めばよいのか
- 評価にどの程度の工数をかけるべきか
- 評価の費用負担はどのようにあるべきか

出典)新日本有限責任監査法人(2017)「社会的インパクト評価の実践による人材育成・組織運営力強化調査－最終報告書－」(内閣府委託調査)

3. 課題の要因

社会的企業の 評価の知識・経 験の不足

- 社会的インパクト評価に初めて取り組む場合等が該当
- 実践経験がないと、前項で述べたような「悩み」や「つまずき」が生じがち(本を読むだけでは不十分)
- 一度経験すれば、大きく改善

評価プロセス・ アウトプットの 複雑性

- 何段階ものステップ
- ロジックモデル、インパクトマップ等のアウトプットが誰でも直感的に分かるようなものではない
- 工数や費用が大きくなる要因

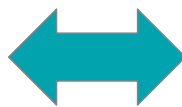
評価に求めら れる高度な知 識・技術の不足

- 評価には高度な知識・技術が求められることも多い(例: 本調査では統計解析を実施)
- 特に、データ分析を社会的企業が実施するには特に困難が伴う

出典)新日本有限責任監査法人(2017)「社会的インパクト評価の実践による人材育成・組織運営力強化調査ー最終報告書ー」(内閣府委託調査)

3. 課題の要因 求められる評価の水準とコスト

厳密な評価



評価コスト

- ▶ 必要な評価の段階
- ▶ セオリー(ロジックモデル)の妥当性
- ▶ 成果指標の妥当性
- ▶ データの信頼性
- ▶ 分析結果の妥当性・信頼性

- ▶ 評価にかかる時間・労力
- ▶ 評価にかかる費用

評価事例を蓄積し、評価のニーズに応じた適切な水準を検討するとともに、
第三者評価により検証することが必要ではないか

3. 課題の要因 (参考)社会的企業と伴走者の工数

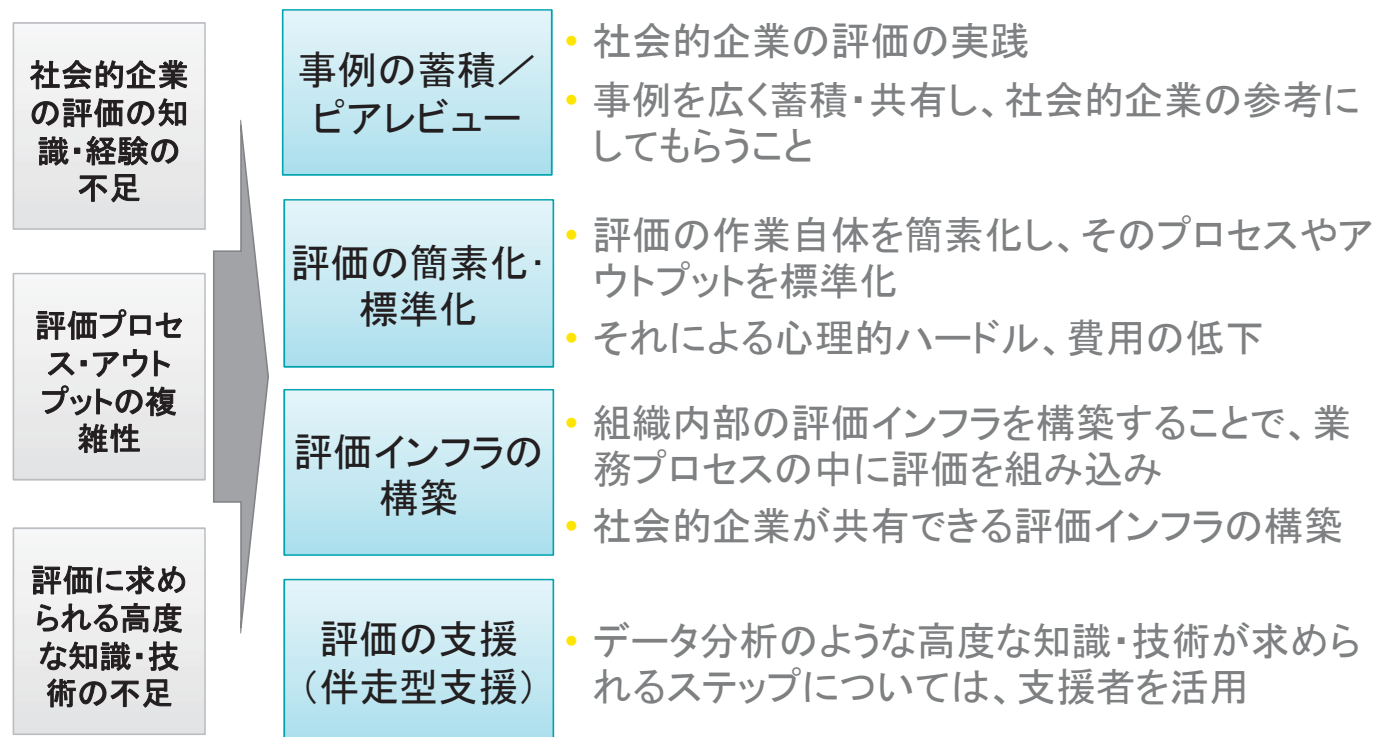
H27年度の内閣府「社会的インパクト評価の実践による人材育成・組織運営力強化調査」において社会的企業3社の評価実践にかかった平均工数

評価のステップ	社会的企業		伴走者	
	平均 (人時間)	構成率 (%)	平均 (人時間)	構成率 (%)
ロジックモデル作成	70	18%	19	14%
インパクトマップ作成	39	10%	25	18%
データ収集	176	46%	62	43%
データ分析	47	12%	21	15%
インパクトレポート作成	49	13%	15	11%
合計	381	100%	143	100%

注1) 事前研修会を実施した7月以降の集計。最終報告会で公表した工数を精査。インパクトレポートの作成にかかる工数は一部のみしか含まれていなかったため、上記図表では、インパクトレポートの作成にかかる工数として、社会的企業は各10時間、伴走者は各5時間を一律に追加している。
 注2) 事務局全体としては、伴走者3名に加え、新日本有限責任監査法人2名及び再委託先の(株)公共経営・社会戦略研究所2名の工数が発生している。
 注3) 内閣府の委託調査としての中間報告会2回及び最終報告会1回のための準備等の工数を含む。

出典) 新日本有限責任監査法人(2017)「社会的インパクト評価の実践による人材育成・組織運営力強化調査－最終報告書－」(内閣府委託調査)

4. 課題の解決策(案)



4. 課題の解決策(案)

人材育成／組織運営力強化

- 評価を実施すること自体が目的なのではない
- 評価を活用することにより当該企業の目的の実現に近づけていくべき



評価を、その活用を含めて**組織に定着させ、適切なマネジメントサイクルを構築**することが必要である。そのためには、社会的企業において評価人材を含めた人材育成を図り、それを組織運営力の強化につなげていくことが重要

<参考> 伴走型支援 伴走支援の内容

- 評価の技術支援
 - 各ステップでのアウトプットイメージの提示(ロジックモデル、インパクトマップ、アンケート調査票、インパクトレポート等)
 - 各ステップでのアウトプットの内容確認・添削
 - アウトプットのドラフト作成(例:アンケート調査票設計)
 - データ収集(例:既存統計、先行調査研究等)
 - データ分析(例:アンケートデータ・統計解析)
 - 技術移転・研修
 - 事前説明会とは別に、評価の各ステップの成果物等について背景や関連情報を含めた詳細な説明を都度実施
 - K2では、Excelによるデータ分析を自ら実施したいという要望があったため、データ分析の研修会を別途実施
-

<参考> 伴走型支援 支援内容(続き)

- ファシリテーター／ディスカッション・パートナー
 - 伴走者として、議論に加わり、ファシリテーターとして議論の進行やとりまとめ
 - ディスカッション・パートナーの役割
 - 進捗管理
 - 本調査の特徴として、研究会や報告会等の会議を複数回実施
 - 各会議体に向けた資料作成等において進捗の度合いに応じて追加的な支援を実施
 - 日々の悩みの相談相手
 - 評価作業を行う社会的企業の側では、日々、大小様々な疑問や悩みが生じる状況
 - 社会的企業と伴走者の対面での議論の場に加えて、電話やメールで日々の悩みの相談に対応
-

IV 社会的インパクト評価の活用に向けて



1. 国や自治体の役割

1. モデル事業を通じた評価の実践と事例の蓄積
2. 評価事例の公表等による評価の普及促進
3. 評価へのステークホルダーとしての参画
4. 評価結果の活用
 - ・ 施策の企画立案、資源配分を含むマネジメントへの活用
 - ・ 民間事業者との協働における活用(成果型PPP)

2. 成果型PPPとインパクト可視化の必要性

